WS 5	F・フクヤマ『リベラリズムへの不満』を読む			オンライン併用
	【定員】30名　　【受講料】 ２年・１年会員ともに14,300円　　聴講生15,730円			
	『政治・経済・社会』【ワークショップ】政治・社会　　【時　間】 毎回15時00分～17時00分（計10回）			
概要	左右両派からの攻撃により脅威に晒されているリベラリズム。フランシス・フクヤマの近著『リベラリズムへの不満』を教材とし、「リベラリズム」という概念を再検討し、現代においてその思想がいかなる状態にあるのかを考える。また、フクヤマ思想の発展の中に本書を位置付けてみる。			

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/ 4(水)	川崎市生涯学習プラザ	序論・古典的リベラリズムとは何か（序・第１章）	関西大学客員教授 会田 弘継
2	10/11(水)		リベラリズムからネオリベラリズムへ（第２章）	
3	10/25(水)		利己的な個人（第３章）	
4	11/ 8(水)		主権者としての自己（第４章）	
5	11/15(水)		リベラリズムが自らに牙をむく（第５章）	
6	11/22(水)		合理性批判（第６章）	
7	12/ 6(水)		テクノロジー、プライバシー、言論の自由（第７章）	
8	12/13(水)		代替案はあるのか（第８章）	
9	1/17(水)		国民意識（第９章）	
10	1/24(水)		自由主義社会の原則・まとめ（第１０章）	

連絡事項	テキストとして使用する、フランシス・フクヤマ著、会田弘継訳『リベラリズムへの不満』（2023、新潮社、2,420円）は、各自でご用意ください。 WSでは、輪読とディスカッションを行います。進め方と資料については初回にご相談します。